

Project

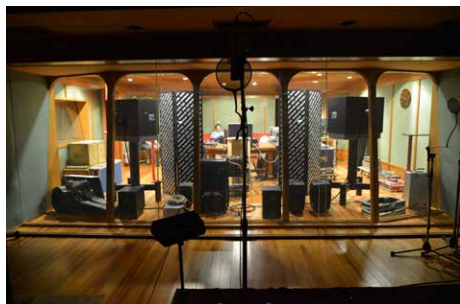
03

“こだわりををかたちにする” 毛利家の遺訓と気概を継承し、
最高の制作環境をミュージシャンに提供するスタジオ

MOURI ART WORKS STUDIO Inc.

モウリスタジオ

◎東京都目黒区



レコーディングエンジニア

飯尾芳史 (Yoshifumi Iio)

1979年アルファレコード入社。細野晴臣「フィルハーモニー」を皮切りに、¥ENLレベルのほとんどの作品を手がけ、1983年にフリーランスとして渡英。トニー・ヴィスコンティのスタジオでエンジニアリングとプロデュースのノウハウを学ぶ。その後オフィス・インテンツィオを経て1986年に藤井丈司らと株式会社トップを、1999年に株式会社アップアップを設立。2010年より再びオフィス・インテンツィオ所属となり多くのミキシングやプロデュース、アレンジも担当している。

最近では竹内まりや「Turntable」/ イエローモンキー 9999 / 渡辺美里 ID / のん「やまないガール」/ 高橋ユキヒロ「2018 Live Saravah Saravah」/ スターダストレビュー「うしみつジャンボリー」/ Renaissance「ROCKSTEADY」矢野顕子などを手掛ける。

【http://intenzio.co.jp/artists_crew/?io?f=1&id=3】



DATA

会社名：モウリアートワークススタジオ株式会社
代表：毛利永子
設立：平成4年4月
所在地：東京都目黒区目黒 3-3-18
URL：<http://www.mouri-aw.co.jp>

ホームスタジオである目黒のモウリ・アートワークススタジオは、コントロールルームと録音ブースの間が全面ガラス張りになつてゐるため、その反射に随分と悩まされてきました。そんなところに現れたこのSHIZUKASDM。最初に感じたのは恐ろしく位相が良くなつたこと。以前の音像を鉛筆の濃さで例えるとHBくらいだったとすると、2Bくらいのくつきりとした輪郭になつたかのようでした。低音の吸音性の良さも特筆すべきですが、加えて中高音のピークを柔らかくもしてくれ、仕事の効率がすくよくよになりました。歌の録音にも絶大な効果を発揮します。大きく張りのある声の方などの場合、声の初期反射がマイクにかぶつてくるために部屋の広さが分つてしまふことがあります。SHIZUKASDMをマイクの周りに設置することによりほぼ解決します。アイデアや考え方で様々なことができると思っています。